

# 長谷川 閑史

グ

ローバル化がますます加速化する世界で、次第に存在感を低下させているこの国は一体どこに行くのか？どうなるのか？と大多数の人が不安に駆られているのではないだろうか。

世界を眺めると、米国は主として移民による人口増加を続けており、ついには昨年3億人を突破した。世界のGDPの約3割を創出しており、多極化しつつある世界にあっても、その存在感は依然として圧倒的である。一方のEUは、加盟国の拡大によるマーケットと人口の増加を実現している。今や5億人近くの人口を抱え、これまた世界のGDPの約3割を創出している。

ところで、わが国の人口は1億3千万弱をピークに減少傾向に転じ、どの先進国よりも速いスピードで少子高齢化が進行している。世界のGDPに占める割合もピークの2割近い数値から着実に低下し、今や1割を占めるかどうかのところまで落ちてきている。目下のところは、米国とEUがいろいろな局面でグローバルのデファクトスタンダード設定のイニシアチブをどちらがとるかを競い合い、そこにBRICsをは

じめとする新興国家が割って入ろうとし、日本はその狭間で翻弄されているというのが実態ではなからうか。

副代表幹事  
企業経営委員会委員長  
武田薬品工業  
取締役社長



## 何処に行くのか日本！

こんな状況にもかかわらず政治は、道路特定財源の一般財源化は是か非かといったような内向きの政争に明け暮れている。こうした有様を大いに疑問に思い、うんざりしながら眺めているというのが大多数の国民の偽らざる気持ちであろう。今日における政治の機能不全は、ある意味では国民の民意を反映した選挙の結果生じたものである。それだけに、いたずらに現状を嘆き憤るだけでなく、われわれ一人ひとりが自分は何ができるか考え抜き、少なくとも次の選挙では先に述べたような状況も十分に考えた上での意思表示をしていくことが必要であろう。

歴史からは多くのことを学ぶことができる。「絶対権力／長期権力は絶対的に腐敗する」という教訓を思い起こしておくことは無駄ではなからう。

## Contents

001 ● 巻頭言 長谷川 閑史	何処に行くのか日本！
002 ● 特集	2008年度 代表幹事所見・通常総会
011 ● 2008年度委員会委員長等一覧	
013 ● 委員長インタビュー	行政改革委員会 清水雄輔 企業・経済法制委員会 岩沙弘道 経済情勢・政策委員会 洞爺湖サミットに向けた意見書起草委員会 細谷英二 科学技術・イノベーション立国委員会 篠塚勝正
017 ● リレートーク 蒲野宏之	他人事ではないインサイダー取引規制
018 ● 経済同友会最前線	行政改革委員会提言 ほか
027 ● 同友会スケッチ	2008年4月の記録と6月の予定
029 ● 新入会員紹介	2008年4月18日現在の入退会者
030 ● 私の思い出写真館 木下利彦	結婚30周年記念（2001年）企画